

第6章 惣菜製造業の生産動向

利用者のために

惣菜製造業の生産動向

参考 統計でみる惣菜の市場動向

利用者のために

(1) 調査のねらい

加工食品の生産動向について、総合的に統計を整備するとき、調理食品のうち、冷凍調理食品、レトルトパウチ食品については把握されているが、惣菜が欠落しており、不明となっている。平成15年の惣菜市场規模は、約7兆円と推計されており、かなり大きいことがわかる。このようなことから、加工食品の全体像を明らかにするため、惣菜の生産動向について調査を行う必要がある。本年度は、社団法人日本惣菜協会の会員企業を対象に調査を開始した。

(2) 調査対象の業種

対象の範囲は、惣菜製造工場（4人以上の事業所）で最終調理され、製造される惣菜製品を対象とする。小売店及び飲食店で製造されるものは除く。また、冷凍食品製造業が製造する調理冷凍食品及びパン・菓子製造業が製造する調理パンを除く。

平成17年については、社団法人日本惣菜協会の会員企業 212社を対象とした。

(3) 調査項目

月次生産量

(4) 惣菜の分類定義

総務省「標準商品分類」に基づき、次の6品目に集約し、区分した。

分類区分

弁当

おにぎり

すし

調理パン

めん類

一般惣菜：（焼き物、煮物、揚げ物、炒め物、和え物、蒸し物、その他）

(5) 調査方法

毎月、郵送によるアンケートを実施

(6) 集計方法

各品目における当月の全国生産量（A）は、客体企業の生産量（B）とそのシェア（C）から推計

$$A = B / C \times 100$$

参考 標準商品分類

75 その他の食料品 (4) **調理食品**

7531 調理冷凍食品 (8)	75395 蒸し物類 (4)
7532 チルド食品 (6)	753951 ぎょうざ
7533 レトルトパウチ食品 (10)	753952 しゅうまい
7539 その他の調理食品 (8) 惣菜	753953 茶碗蒸し
<u>75391 煮物類 (8)</u>	753959 その他の蒸し物類
753911 煮魚	<u>75396 和え物類 (6)</u>
753912 煮まめ	753961 野菜サラダ
753913 甘露煮	753962 ポテトサラダ
753914 おでん	753963 マカロニサラダ
753915 カレー	753964 酢の物
753916 シチュー	753965 マリネ
753917 ロールキャベツ	753969 その他の和え物類
753919 その他の煮物類	75397 米飯類 (14)
<u>75392 焼物類 (9)</u>	<u>7539701 弁当</u>
753921 焼肉	<u>7539702 おにぎり</u>
753922 焼豚	<u>7539703 寿司</u>
753923 焼鳥	7539704 白飯
753924 玉子焼	7539705 赤飯
753925 オムレツ	7539706 ピラフ
753926 うなぎ蒲焼	7539707 チャーハン
753927 グラタン	7539708 サンドイッチ
753928 ハンバーグ	7539711 ハンバーガー
753929 その他の焼物類	7539712 スパゲッティ
<u>75393 炒め物類 (4)</u>	7539713 お好み焼き
753931 野菜炒め	7539714 肉まん
753932 きんぴら	7539715 あんまん
753933 焼きそば	7539799 その他の米飯類
753939 その他の炒め物類	<u>75399 他に分類されない調理食品</u>
<u>75394 揚げ物類 (8)</u>	
753941 コロッケ	
753942 トンカツ	
753943 天ぷら	
753944 からあげ	
753945 魚フライ	
753946 串あげ	
753947 春巻	
753949 その他の揚げ物類	

資料：総務省「標準商品分類」

惣菜製造業の生産動向

17年後期(7～12月)の惣菜生産量は、140万4千トン(重量計)で、内訳についてみると、弁当が43万8千トン(構成比31.2%)、おにぎりが38万8千トン(同27.6%)、寿司が5万2千トン(同3.7%)、調理パンが1万6千トン(同1.2%)、調理めんが16万トン(同11.4%)、一般惣菜が35万1千トン(同25.0%)となっている(図6-1、図6-2、表6-1)。

図6-1 惣菜の品目別生産量構成比(平成17年7月から12月計)

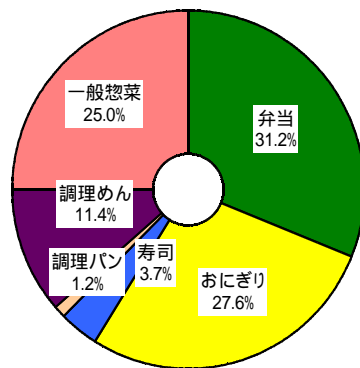


図6-2 惣菜の品目別生産量(平成17年7月から12月)

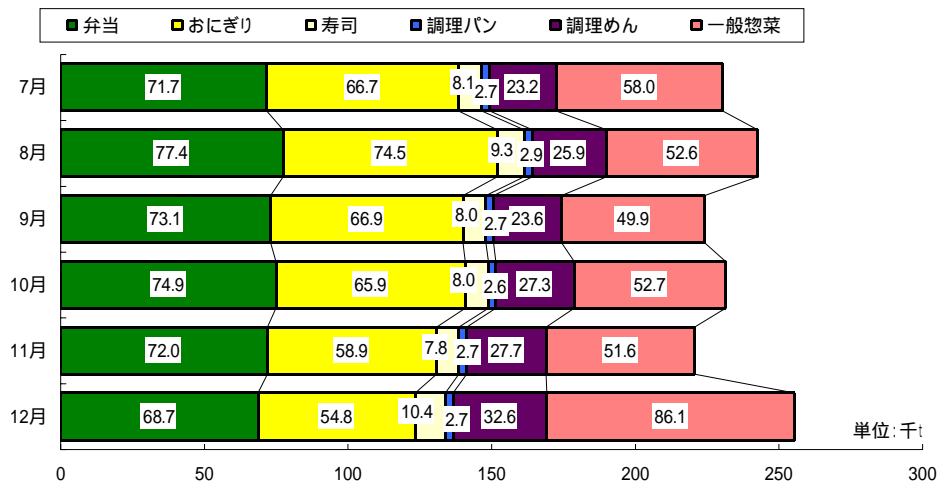


表6-1 惣菜の生産量

単位:t

	惣 菜						
	計	弁当	おにぎり	寿司	調理パン	調理めん	一般惣菜
平.17 (7~12月)	1,404,340	437,700	387,700	51,540	16,360	160,190	350,870
平.17.1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-
7	230,370	71,680	66,700	8,100	2,710	23,200	57,980
8	242,570	77,370	74,530	9,290	2,930	25,860	52,600
9	224,150	73,120	66,900	7,960	2,730	23,570	49,880
10	231,430	74,900	65,920	8,040	2,600	27,250	52,720
11	220,560	71,960	58,880	7,750	2,670	27,680	51,620
12	255,260	68,670	54,770	10,400	2,720	32,630	86,070

参考 統計でみる惣菜の市場動向

惣菜製造業の年間販売額は7,234億円（工業統計）、原材料費及び人件費の増加から、収益は減少

工業統計によれば、惣菜製造業の平成16年における事業所数は1,125カ所で、年間販売額は7,234億円で、平成14年をピークに減少に転じている。平成16年は原材料費率及び人件費率が上昇し、その結果、付加価値が減少となっている。

工業統計における惣菜製造業は、標準産業分類に基づくもので、食品工業という枠組みにおける製造業である。したがって、惣菜を製造する、例えば惣菜製造小売業、弁当惣菜宅配業、百貨店、スーパー、CVSの弁当・惣菜などすべての事業所を網羅しているわけではない。

表6-2 惣菜製造業の販売動向

	事業所数	従業員数 人	販売額 百万円	付加価値率 %	原材料費率 %	人件費率 %
11年	1,337	53,248	696,222	41.1	54.8	18.5
12年	1,291	51,631	683,171	42.1	54.0	17.9
13年	1,213	53,506	694,234	41.0	54.8	18.3
14年	1,202	59,270	796,188	40.8	54.9	17.4
15年	1,187	58,233	733,481	42.1	53.6	17.8
16年	1,125	59,516	723,423	41.3	54.6	18.4

資料：経済産業省「工業統計」

惣菜の市場規模は約7兆円（平成16年）

惣菜白書では、料理品小売業としての枠組みから、惣菜の市場規模を業態別に分類し、推計していることが特徴である。

惣菜白書によれば、平成16年における惣菜の市場規模は、約7兆円と推計されている。品目別構成比についてみると、米飯類が42.4%、調理パンが5.7%、調理めんが8.2%、一般惣菜が43.7%となっており、米飯類と一般惣菜が拮抗している。また、業種別構成比は、専門店、他が39.5%、百貨店が0.2%、スーパーが併せて33.3%、CVSが26.9%となっており、専門店、他とCVSが拮抗していることがわかる。しかし、CVSは単価が比較的安いことから、数量ベースのシェアが最も高いものと推測される。

品目と業種のクロスで見ると、CVSは米飯類の割合が高く、専門店、他、百貨店、GMS、SMは一般惣菜の割合が高い。また、米飯類、調理パン、調理めんにおいてはCVSのシェアが最も高い。一般惣菜では、専門店・他のシェアが最も高い。

表6-3 平成16年における惣菜の市場規模

単位: 百万円、%

	計	米飯類	調理パン	調理めん	一般惣菜
計	6,968,367	2,952,289	400,514	572,459	3,043,105
専門店、他	2,755,716	846,005	99,206	217,261	1,593,244
百貨店	14,228	5,670	529	597	7,432
GMS	844,352	336,287	29,019	27,426	451,620
SM	1,477,870	622,391	32,695	65,031	757,753
CVS	1,876,201	1,141,936	239,065	262,144	233,056
品目別構成比					
計	100.0	42.4	5.7	8.2	43.7
専門店、他	100.0	30.7	3.6	7.9	57.8
百貨店	100.0	39.9	3.7	4.2	52.2
GMS	100.0	39.8	3.4	3.2	53.5
SM	100.0	42.1	2.2	4.4	51.3
CVS	100.0	60.9	12.7	14.0	12.4
業態別構成比					
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
専門店、他	39.5	28.7	24.8	38.0	52.4
百貨店	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
GMS	12.1	11.4	7.2	4.8	14.8
SM	21.2	21.1	8.2	11.4	24.9
CVS	26.9	38.7	59.7	45.8	7.7

資料: 社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」

最後に、家計調査から、惣菜の購入実態についてみることにする。

1世帯あたりの惣菜の平成17年支出金額は、10万1千円である。内訳についてみると、主食的調理食品が40.3%、他の調理食品が59.7%であり、一般惣菜の割合が比較的高い。

主食的調理食品についてみると、おにぎりや調理パンの割合が低く、すしの割合が高いのが特徴である。また、一般惣菜の割合が高いことも、これらは単身世帯が含まれていないことに起因していると考えられる。

表6-4 1世帯当たりの調理食品支出金額及び月別構成比

単位:円、%

	計	主食的調理食品						他の調理食品			
		小計	弁当	すし	おにぎり	調理パン	他の主食的調理食品	小計	冷凍調理食品	そうざい材料セット	他の調理食品のその他
計	101,044	40,754	12,180	12,372	3,758	3,364	9,079	60,290	5,177	4,224	25,672
平.17.1	7,926	3,289	916	1,024	256	262	831	4,637	379	416	2,012
2	7,451	3,278	907	1,124	247	258	742	4,173	392	361	1,639
3	7,971	3,437	1,035	1,020	340	283	759	4,534	420	265	1,808
4	7,927	3,341	1,057	994	330	278	683	4,586	447	292	1,787
5	7,985	3,287	984	1,034	323	284	662	4,698	452	265	1,868
6	7,537	2,921	888	922	278	256	576	4,616	454	329	1,732
7	8,819	3,358	1,047	983	341	289	699	5,461	426	260	1,902
8	8,684	3,731	1,130	1,128	381	313	779	4,954	375	285	1,965
9	8,074	3,376	1,068	966	342	291	710	4,698	450	290	1,921
10	8,471	3,505	1,094	976	337	277	821	4,966	468	420	2,089
11	8,273	3,411	1,051	941	301	285	834	4,862	465	470	2,030
12	11,926	3,819	1,003	1,262	280	290	983	8,107	450	571	4,920
計	100.0	40.3	12.1	12.2	3.7	3.3	9.0	59.7	5.1	4.2	25.4
平.17.1	100.0	41.5	11.6	12.9	3.2	3.3	10.5	58.5	4.8	5.2	25.4
2	100.0	44.0	12.2	15.1	3.3	3.5	10.0	56.0	5.3	4.8	22.0
3	100.0	43.1	13.0	12.8	4.3	3.6	9.5	56.9	5.3	3.3	22.7
4	100.0	42.1	13.3	12.5	4.2	3.5	8.6	57.9	5.6	3.7	22.5
5	100.0	41.2	12.3	12.9	4.0	3.6	8.3	58.8	5.7	3.3	23.4
6	100.0	38.8	11.8	12.2	3.7	3.4	7.6	61.2	6.0	4.4	23.0
7	100.0	38.1	11.9	11.1	3.9	3.3	7.9	61.9	4.8	2.9	21.6
8	100.0	43.0	13.0	13.0	4.4	3.6	9.0	57.0	4.3	3.3	22.6
9	100.0	41.8	13.2	12.0	4.2	3.6	8.8	58.2	5.6	3.6	23.8
10	100.0	41.4	12.9	11.5	4.0	3.3	9.7	58.6	5.5	5.0	24.7
11	100.0	41.2	12.7	11.4	3.6	3.4	10.1	58.8	5.6	5.7	24.5
12	100.0	32.0	8.4	10.6	2.3	2.4	8.2	68.0	3.8	4.8	41.3

資料:総務省「家計調査」